

令和8年5月29日
都市局市街地整備課

「第28回(2025年)まちづくり・都市デザイン競技」における
「国土交通大臣賞」受賞作品の決定
～地域にふさわしい整備構想とまちのデザイン提案についての表彰～

まちづくり・都市デザイン競技(主催:(公財)都市づくりパブリックデザインセンター)は、毎年6月の「まちづくり月間」の関連表彰の1つとして、地域にふさわしい整備構想とまちのデザインについての提案を広く一般から募り、活力があり、また美しい景観を備えたまちづくりを実現することを目的として、平成10年度より毎年実施しているものです。

この度、審査委員会における審査を経て、第28回(2025年)の「国土交通大臣賞」受賞作品が決定しましたので、お知らせいたします。

1 第28回(2025年)まちづくり・都市デザイン競技について(詳細は添付資料を参照)

- 競技対象地区:千葉県柏市「柏駅周辺地区」(約42.8ha)

2 国土交通大臣賞 受賞作品

- 作品名:むすんで ひらいて... かしわで ~変化を繰り返しながら多世代が響き合う
まちに~(作品の詳細は添付資料を参照)

- 受賞者:石田 武/半澤 武夫/杉本 士美/野島 僚子/平賀 順也/西山 有希/アニサ
ラマティア ワルドヨ/白鳥 翔大/村上 菜登/倉品 凜一/石井 元啓/小林
芽依/比果 未穂子/北脇 優子/大井 涼太郎 [大成建設株式会社]

【問い合わせ先】

＜国土交通大臣賞に関すること＞

都市局市街地整備課 じげ 地下、かせだ 悴田

代表:03-5253-8111(内線32732、32754)、直通:03-5253-8412

＜まちづくり・都市デザイン競技全般に関すること＞

(公財)都市づくりパブリックデザインセンター 古木、吉野

直通:03-6912-0799



第 28 回（2025 年）まちづくり・都市デザイン競技

1. 趣旨

これからのまちづくりにおいては、そこに生活し活動していることの豊かさが実感でき、誇りのもてる優れた景観を備えた環境整備が重要になっています。

現在の活動にふさわしい新たな都市景観の形成には、まちの歴史や環境に配慮しながら、その都市固有の品格を備え洗練された表現と演出が求められ、その魅力が都市に活力を呼び戻し、新たな賑わいを伴って、まち全体が活性化していくことが期待されています。

こうしたまちづくりの課題を踏まえ、本「まちづくり・都市デザイン競技」は、地域にふさわしい整備構想とまちのデザインについての提案を広く一般から募り、まちづくりに対する国民の関心を高めるとともに、活力ある美しい景観を備えたまちづくりの実現に寄与することを目的として、平成 10 年度より毎年実施しており、今年度で第 28 回目を数えます。

2. 競技対象地区

今回の対象地区は、まちの更なる発展を目指すべく、その転換期を迎えている「柏駅周辺地区」（約 42.8ha）といたしました。

本地区は、昭和 48 年（1973 年）に全国に先駆けて実施された柏駅東口市街地再開発事業の竣工を契機に、駅東口・駅西口に各々大規模百貨店が立地しました。加えて、駅前交通広場として整備された全国初のペデストリアンデッキは、「ダブルデッキ」という愛称で呼ばれ、整備から半世紀が経過した現在もなお、憩い・交流の場として、市民に親しまれています。

平成時代に入ると上記商業機能（一部）のリニューアルや新館が開業されました。しかしながら、近年では、商業施設の閉店が相次ぎ、商業機能の更新の時期を迎えている状況となっています。

3. 競技課題（※）募集要領（令和 7 年 11 月公開）からの抜粋

（1）柏駅周辺地区における個性の開拓および県の中核となるまちとしての役割、これらを踏まえたコンセプト・テーマの設定

柏市では、令和 7 年 4 月に市政を総合的・計画的に進めるための指針とする「柏市第六次総合計画」を策定しています。その中で、「東葛圏域の中核となるだけでなく、新しく集った人々と共創し、圏域や社会を先導するまちとして、未来を見据えたまちづくり政策」、「皆があこがれ、住みたい・住み続けたい、訪れたいと思うまち」を“リーディングコアシティ”と表現し、地域を牽引する魅力あふれるまちを目指しています。

商業拠点都市として栄えてきた柏駅周辺地区における「個性」を伸ばすだけでなく、賑わい創出に寄与する公共公益施設の拡充も視野に入れ、県北西部における中核となるまちとして、柏駅周辺地区は今後どのような役割を担うべきか、これらの観点を踏まえたまちづくりにおける具体的なコンセプト・テーマを提案してください。

（2）10 年後（近未来）・20 年後（目指すべき都市像）の段階的なまちづくりのビジョン・イメージおよび整備手法

（1）において設定したコンセプト・テーマを実現するために、10 年後（近未来）・20 年後（目指すべき都市像）の段階的なまちのビジョン・イメージといった空間デザインと、その整備手法の提案を求めます。その際には市有地（旧そごう跡地等）を積極的に活用し、民間との協働による整備とする提案としてください。

4. 応募作品数

競技へのエントリーが 53 グループあり、最終的に 41 作品が提出されました。

5. 主催・後援

（1）主 催： 公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター

（2）後 援： 国土交通省、柏市

6. 競技実施経緯

- (1) 応募登録期間 : 令和7年11月13日(木)～令和8年2月9日(月)
- (2) 作品提出締切 : 令和8年2月16日(月)
- (3) 審査 : 令和8年2月25日(水)
- (4) 表彰 : 令和8年6月(まちづくり月間期間内)

7. 審査委員

委員長	西村幸夫	國學院大學教授、東京大学名誉教授
委員	石川幹子	中央大学研究開発機構 機構教授、東京大学名誉教授
	伊藤香織	東京理科大学教授
	岸井隆幸	(公財)都市づくりパブリックデザインセンター理事長、 (一財)計量計画研究所代表理事
	高見公雄	法政大学教授
	小川博之	国土交通省都市局市街地整備課長
	太田和美	柏市長

(順不同、敬称略、令和8年2月時点)

8. 審査結果

審査の結果、次の通り各賞が選定されました。

国土交通大臣賞(1点)

「むすんで ひらいて... かしわで ～変化を繰り返しながら多世代が響き合うまちに～」
石田 武/半澤 武夫/杉本 士美/野島 僚子/平賀 順也/西山 有希/アニサ ラマティア ワルドヨ/
白鳥 翔大/村上 菜登/倉品 凜一/石井 元啓/小林 芽依/比果 未穂子/北脇 優子/大井 涼太郎
[大成建設株式会社]

まちづくり・都市デザイン競技審査委員会賞(1点)

「連鎖するまち かしわっか」
服部 優亜/天野 篤 [早稲田大学創造理工学部建築学科]

(公財)都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞(1点)

「KASHIWA Try-Angle ～まちの角を起点に絶えず挑戦が生まれるまち柏～」
関 華子/野上 昌孝/佐藤 良介/大山 優/梅澤 達紀 [株式会社 日本設計]

奨励賞(2点)

「カシワ×バ -人・文化が交わり、多様な活動が生まれる土壌-」
尾美 樹生/石本 莉菜/清水 杏/高橋 昌幹/田村 悠真/葩島 幹汰/安野 壮哉 [戸田建設株式会社]

「カシワ・シャベリバ -都市を更新する“会話のインフラ”開発計画-」
吉永 悠真/饗庭 優樹/池成 貴大/川崎 太一/本多 みずほ [株式会社 竹中工務店]

柏市長特別賞(2点) ※柏市長特別賞は柏市により選定

「かしづく、かしわ。 Seed × Link = SEEd LINK」
鷹野 まい/久保 貴生/和田 倫典/長井 香南/池澤 匠 [株式会社オオバ]

「KASHIWA HUMAN NEXUS ～分断された街を「人の成長」で縫い合わせる commons～」
金城正紀 [東京家政大学]

